

# 数学Ⅱ・B 第1問〔1〕

(1) Pは線分ABを2:1に内分する点であるから、

$$\text{その座標は } \left( \frac{1 \cdot 6 + 2 \cdot 3}{2+1}, \frac{1 \cdot 0 + 2 \cdot 3}{2+1} \right)$$

$$\text{すなわち } (4, 2)$$

Qは線分ABを1:2に外分する点であるから、

$$\text{その座標は } \left( \frac{-2 \cdot 6 + 1 \cdot 3}{1-2}, \frac{-2 \cdot 0 + 1 \cdot 3}{1-2} \right)$$

$$\text{すなわち } (9, -3)$$

(2) 線分OPの中点の座標は  $\left( \frac{0+4}{2}, \frac{0+2}{2} \right)$

$$\text{すなわち } (2, 1)$$

$$\text{また、直線OPの傾きは } \frac{2-0}{4-0} = \frac{1}{2}$$

よって、線分OPの中点を通り、OPに垂直な直線の方程式は  $y-1 = -2(x-2)$

$$\text{すなわち } y = -2x + 5 \quad \dots\dots \text{①}$$

$$\text{線分PQの中点の座標は } \left( \frac{4+9}{2}, \frac{2+(-3)}{2} \right) \quad \text{すなわち } \left( \frac{13}{2}, -\frac{1}{2} \right)$$

$$\text{また、直線PQの傾きは } \frac{-3-2}{9-4} = -1$$

よって、線分PQの中点を通り、PQに垂直な直線の方程式は  $y - \left(-\frac{1}{2}\right) = x - \frac{13}{2}$

$$\text{すなわち } y = x - 7 \quad \dots\dots \text{②}$$

$$\text{①, ②を連立して解くと } x=4, y=-3$$

ゆえに、2直線①, ②の交点、すなわち円Cの中心の座標は  $(4, -3)$

円Cの半径、すなわち原点Oと中心 $(4, -3)$ の距離は  $\sqrt{4^2 + (-3)^2} = 5$

したがって、円Cの方程式は  $(x-4)^2 + \{y-(-3)\}^2 = 5^2$

$$\text{すなわち } (x-4)^2 + (y+3)^2 = 25 \quad \dots\dots \text{③}$$

(3) 円Cとx軸の2つの交点のx座標は、③に $y=0$ を代入して得られるxの2次方程式 $(x-4)^2 + 9 = 25$ の2つの実数解と一致する。

$$\text{これを解くと } x=0, 8$$

よって、Rのx座標は 8

したがって、Rは線分OAを $OR : AR = (8-0) : (8-6) = 8 : 2 = 4 : 1$ に外分する。

